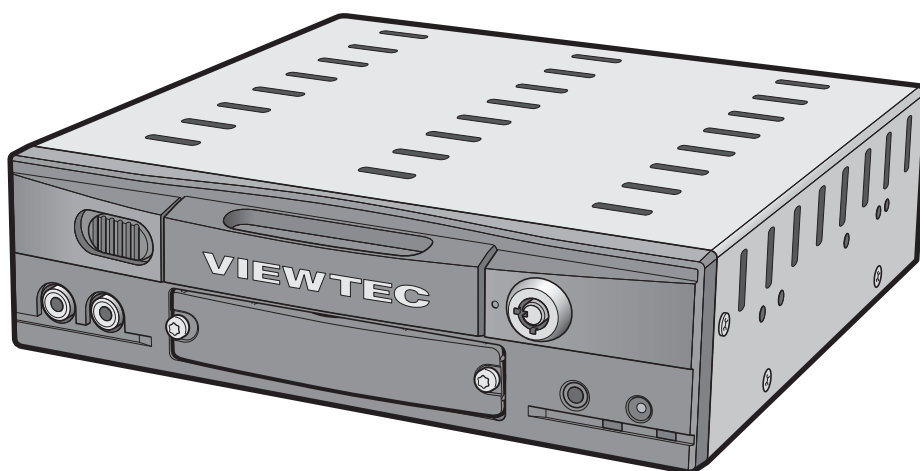


VIEWTEC

Vehicle Recording System

録太郎 FHD VHR-851FHD

取扱説明書



CE FC

このたびは、日本ビューテック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
本機「録太郎 FHD」を安全にお使いいただくための重要な情報が書かれています。

ANC190301SNMW-VHR-851FHD-TTS

免責事項

- ・ 本機・記録媒体・カメラ・付属品等の故障、本機使用によって生じた損害、および未録画や記録された映像・音声やデータの損傷、破損による損害については、弊社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機は車両に設置されたカメラの映像信号などを常時・任意記録する装置ですが、全ての状況において映像の質や記録の保存を保証するものではありません。
- ・ 本機で録画・録音されたデータは個人のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社では一切の責任を負いません。
- ・ 記録された映像などは実際のものとは異なって見える（聞こえる）状態で記録されることがありますが、弊社は一切の責任を負いません。
- ・ 不適切な設置や使用、本来の使用用途以外での使用、または移動中の事故による損失などについて弊社は責任を負いません。
- ・ LED式信号機は人の目には見えない速さで点滅を繰り返しているため、信号機が点灯状態であっても、本機で記録した映像では、点滅や消灯に見える場合や色の識別が困難な場合があります。それにより発生した損害については弊社は一切の責任を負いません。
- ・ GPS・車速・エンジンパルスの信号を常に記録（表示）できることを保証しません。またそれにより発生した損害については、弊社は一切の責任を負いません。車両速度は実際の車両速度と異なる場合があります。また、GPSで車両速度を取得している場合、トンネルなどGPS電波が受信できない場所では車両速度が表示できません。また、GPS測位データを取得していない場合、「MR PLAYER」での再生時に地図は表示されません。
- ・ ハードウェア・ソフトウェアは予告なく仕様変更する場合があります。

SDカードのバックアップについて

1. 本機がSSDを認識している場合は、SDカードのバックアップ録画へ移行できません。
※ SSDの動作が不安定でも、動作しているという信号（本機を認識できる状態）が出ている場合は移行できません。
2. 誤った取り扱いで、SSD内のデータが破損していると、本機の起動時や録画中にフリーズすることがあります。フリーズするとSDカードへのバックアップ録画に移行しません。
※ SSD内のデータに異常を検知した場合、本機は再起動を試みたり、フォーマットを促すシステムを組み込んでいますが、フリーズしたり再起動を繰り返すことがあります。フリーズや再起動を繰り返すと、前面ランプが点灯している状態を制御することはできません。
3. ACC ONの都度、SSDの状態を検知・確認します。
4. SSDに異常がない場合でもSDカードへのバックアップ録画へ移行することがあります。
5. SDカードは年1回以上の交換を強く推奨します。録画回数が増えたり、寿命が短くなることを防ぎます。
※ SDカードの認識不良や書き込み不良の時、Powerランプは点灯し、Recランプは消灯します。モニターではアイコンは表示されません。
6. SSDやSDカードの各機能は当社指定の製品のみ対応可能です。

注意

ご購入時の注意

- 記録媒体 (SSD (HDD)・SDカード・USBメモリー) は付属しておりません。別途お買い求めください。
- 記録媒体のメーカー・容量によっては、正常に動作しない場合があります。推奨記録媒体については販売店にご確認ください。
- SSD (HDD) は高さが9.5mm以下のものを使用してください。
- 衝撃や振動による接触不良を起こす場合がありますため、変換アダプターを装着したMiniSDカード・MicroSDカードは使用しないでください。
- 本機は12V・24V車専用です。それ以外では使用しないでください。
- 本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- 製品には保証書が付いております。お買い上げの際には、お買い上げ年月日、販売店名の記入をご確認の上、必ずお受け取りになり大切に保管してください。

取り付け時の注意

- この説明書には、機器を車両に設置するための概要が記載されています。ただし、実際の電気配線は車両により異なるため、設置者および使用者は、車両メーカーに安全面でのアドバイスを受けてください。
- 車両へのダメージを避けるため、専門技術者のアドバイスにしたがって設置してください。
- 配線作業中は、バッテリーのマイナス側ケーブルを必ず外してください。ケーブルを外さないと、ショートによる感電や怪我の原因となります。
- 本機電源コードのヒューズ規定容量は7.5Aです。ヒューズを交換する場合は、規定容量のヒューズと交換してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、配線などが過熱し、焼損して火災になるおそれがあります。
- レコーダー本体は、直射日光などを避けて、助手席の下など平らな場所に確実に固定してください。しっかりと固定できないところや、振動の多い場所には取り付けしないでください。
- 記録媒体を抜き差しできるように、レコーダーの前面にスペースを確保してください。
- 電波の透過率が低いガラスや、垂直のフロントガラスにGPSアンテナを設置する場合は、GPS電波が受信しにくくなる場合があります。
- 本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信器を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

-
- 車両設置済みの他機器と干渉することがあります。本機およびGPSアンテナ設置後に他機器の動作状況を必ずご確認ください。他機器のGPSアンテナが設置されている場合は、1m以上離してください。

ご使用時の注意

- **記録媒体 (SSD (HDD)・SDカード) には寿命があります。記録媒体の動作不良、録画ファイルの破損または未録画が見られた場合や、本体の電源が入っている状態で本体前面の録画ランプが消灯している場合は、継続的な使用を中止し、新しい記録媒体へ交換してください。**
- **正常な録画を維持するため、1か月に一度のペースで記録媒体 (SSD (HDD)・SDカード・USBメモリー) をフォーマットすることを推奨します。**
- **本機から記録媒体 (SSD (HDD)・SDカード・USBメモリー) を取り出すときは、必ず本機の電源を切った状態 (電源ランプ (緑)、および録画ランプ (赤) が消灯している状態) で取り出してください。記録媒体に記録された映像が消失する場合や、記録媒体が破損する場合があります。**
- **運行前に必ずドライブレコーダー本体・接続カメラ・GPSの動作を点検し、正常に録画がされていることを確認してください。**
- 本機の全てのメニュー設定操作は、車両を安全なところへ止め、安全を確認した上で行ってください。
- 衝撃や振動による接触不良を起こす場合があるため、変換アダプターを装着したMiniSDカード・MicroSDカードは使用しないでください。
- 本機ではじめて使用する記録媒体は、録画前に必ず本機でフォーマットしてください。フォーマットについては32ページの『システム設定一覧：ストレージ』を参照してください。
- 記録媒体 (SSD (HDD)・SDカード・USBメモリー) は指定した方向へ正しく挿入してください。無理に挿入すると破損する場合があります。
- SSD (HDD) ユニットの落下させたり、無理な衝撃を加えたりしないでください。SATA接続コネクター部や記録媒体が破損することがあります。
- 水濡れ、粉塵により、接続不良や記録媒体が故障することがあります。

目次

お使いになる前に	9
梱包品を確認する	9
各部の名前を確認する	11
記録媒体を取り付ける	14
SSD (HDD) の取り付け	14
SSD (HDD) トレーの取り外し	15
SSD (HDD) トレーの取り付け	15
SDカードの挿入	16
SDカードの取り出し	17
本機・カメラ・付属品を取り付ける	18
動作確認をする	23
電源をONにする	23
電源をOFFにする	23
本機を操作する	24
リモコンで本機を操作する	24
マウスで本機を操作する	24
本機の初期設定を行う	25
画面表示を確認する	27
設定を変更する	28
カメラ設定を変更する	29
録画設定を変更する	30
システム設定を変更する	31
イベント録画設定を変更する	34
ネットワーク設定を変更する	37
動作ログリストを参照する	40
機能ロックを使用して機能を制限する	41

映像を検索・再生する	42
カメラの音量を調節する	43
分割画面表示を変更する	43
画面上アイコンを非表示にする	43
分割画面表示中のチャンネルの表示順を設定する	44
情報画面を確認する	44
PC (ビューワーソフト) で映像を再生する	46
仕様	46

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使用しています。

その表示と意味は、次のようになっています。

取扱説明書をお読みになり、内容をよく理解のうえ正しくお使いください。



この表示を無視して誤った取り付けや操作をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り付けや操作をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		一般的な禁止行為を告げるものです。
	分解の禁止を告げるものです。		警告・注意を告げるものです。



	DC9.6 ～ 32V マイナスアース車で使用すること。 プラスアース車で使用すると、本機内部がショートし、火災や感電の原因となります。
	本機を運転や視界の妨げになる位置には取り付けない。 エアバッグなど安全装置の妨げになる位置や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル付近など、運転に支障をきたす位置への取り付けは、事故の原因となります。
	万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変なにおいがするなどの異常が起きたら、直ちに使用を中止し、必ず、お買上げの販売店に相談する。 そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
	本機を分解・改造しない。 事故や火災、感電の原因となります。

	正しく配線する。 正しく配線しないと発火や事故の原因となります。特にリード線などがねじやシートルールなどの可動部にかみ込まないように配線してください。またステアリング、ブレーキペダルなどに巻き付かないよう固定してください。
	配線作業中は、バッテリーのマイナス側ケーブルをはずす。 ケーブルをはずさないと、ショートによる感電や怪我の原因となります。
	接続ケーブル類の配線は、高熱部を避ける。 排気管やエンジンの付近に配線すると、高熱のためケーブル被覆が溶けてショートや断線の危険があり、発火や故障の原因となります。
	電源コードやその他コードは、運転の障害とならないように配線する。 ・ブレーキや、アクセルなど可動部分の近くに配線しないでください。 ・配線が手や足にさわらないように注意してください。
	運転者は走行中に本機を操作しない。 必ず安全な場所に車を停車させてから操作してください。交通事故の原因となります。
	SDカードスロット、USB端子に異物を入れない。 火災や感電の原因となります。

注意

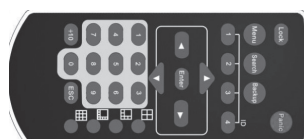
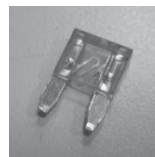
	本機を落下させたり、衝撃を加えたりしない。 衝撃を加えると故障や火災発生の原因となることがあります。
	取り付け場所の汚れやワックスをきれいに拭き取る。 走行時の振動で機器がはずれて運転の妨げとなり、交通事故や怪我の原因となることがあります。
	必ず付属の部品を指定通りに使用する。 指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を傷めたり、確実に固定できずにはずれたりして、事故や故障などの原因となることがあります。
	接続終了後は、ケーブル類をクランプや絶縁テープなどで固定する。 ケーブルがゆるむと、車体部分との接触によりケーブル類の外被がすりきれてショートし、故障や火災の原因となることがあります。

お使いになる前に

梱包品を確認する

お買い上げいただいた製品には、次のものが含まれています。

- VHR-851FHD レコーダー本体
- 電源コード (VHR-AC100) + ヒューズ (7.5A) × 2
- GPSユニット (VHR-GPS500)
- リモコン (VHR-CC101) + 乾電池 (単4 × 2)
- 前面カバー専用ネジ回し
- 本体専用キー × 2
- カメラ接続用ケーブル (VHR-AB30) × 2
- I/Oケーブル (VHR-AS200)
- 「録太郎」取扱説明書 (本書)
- 「MR Player」取扱説明書



万一、不足しているものがありましたら、弊社までお問い合わせください。

オプション

⚠ 注意：記録媒体はオプション

- 本製品には記録媒体は含まれておりません。別途お買い求めください。
- 記録媒体のメーカー・容量によっては、正常に動作しない場合があります。推奨記録媒体については販売店にご確認ください。
- 記録媒体は以下の種類が使用できます。

メイン記録媒体：

①ソリッド・ステート・ディスク (以下SSD) ※推奨容量：256GB / 最大容量：1TB

②ハード・ディスク・ドライブ (以下HDD) ※推奨容量：1TB / 最大容量：2TB

サブ記録媒体：

①SDカード (本機はSDXC対応) ※推奨容量：32GB / 最大容量：128GB

※記録時間については47ページの『記録時間の目安』を参照してください。

- SSD (HDD) は高さが9.5mm以下のものを使用してください。

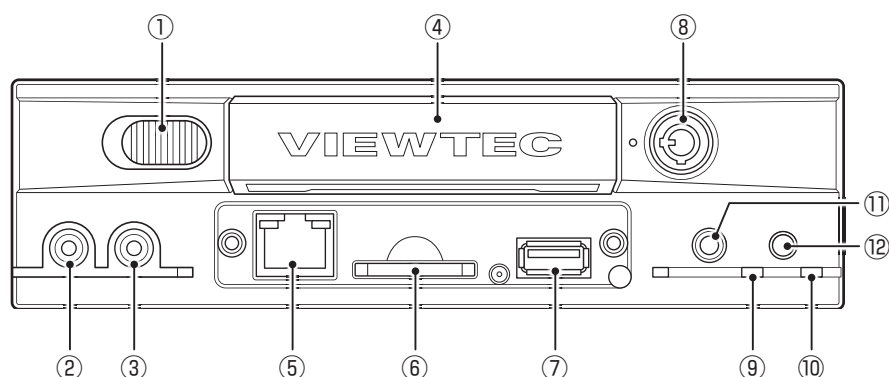
本製品には次のオプション品があります。詳しくは弊社までお問い合わせください。

- イベントボックス (パニック録画用リモコン)
- 本体用Bracket (VHR-BR180)
- SATAケーブル
- ソリッド・ステート・ディスク (SSD)
- ハード・ディスク・ドライブ (HDD)
- SDカード (SDXC)
- コントロールボックス (VH-H20)
- モニター (VH-M20)
- RCA映像ケーブル
- RCA音声ケーブル
- 無線通信用アンテナ
- 3G/4G通信用アンテナ

※通信対応については別途販売店にご連絡ください。別途通信管理契約が必要となります。

各部の名前を確認する

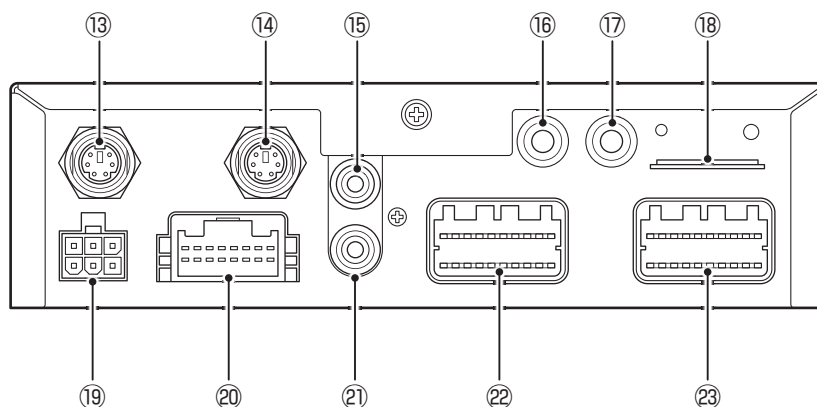
本体前面



No.	名称	機能
①	トレイロックバー	SSD (HDD) トレーの固定・解除用スライドバー
②	音声出力 (Audio)	音声出力端子RCA (赤)
③	映像出力 (Video)	映像出力端子RCA (黄)
④	SSD (HDD) トレー	メイン記録媒体 (SSD (HDD)) 設置用トレイ
⑤	LAN端子	LANケーブル接続用端子
⑥	SDカードスロット	SDカード挿入口
⑦	USB端子	USBメモリー / USBマウス / USB通信カード (将来機能) の挿入口
⑧	錠	SSD (HDD) トレーのロック/解除 電源ON/OFF (ACCラインがONの場合)
⑨	録画ランプ【赤】	録画ランプ※
⑩	電源ランプ【緑】	電源ランプ※
⑪	マイク入力端子	ウォークーキー入力用端子
⑫	リモコン受光部	リモコンの受光部

※ランプの点灯や点滅で、本機の状態を確認できます。詳しくは23ページの『インジケータランプについて』を参照してください。

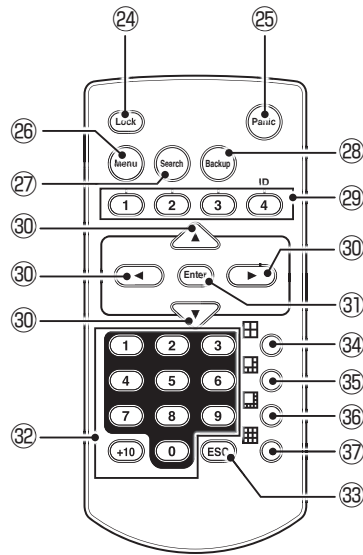
本体背面



No.	名称	機能
⑬	INDICATOR	イベントボックス接続用端子 ※GPSユニット接続用端子と形状が同じです。誤ってGPSユニットを接続しないようご注意ください。 ※イベントボックスはオプションです。
⑭	GPS	GPSユニット接続用端子 ※イベントボックス接続用端子と形状が同じです。誤ってイベントボックスを接続しないようご注意ください。
⑮	VIDEO OUT	映像出力端子RCA (黄)
⑯	WIFI	無線通信用アンテナ接続用端子*
⑰	3G / 4G	3G/4G通信用アンテナ接続用端子*
⑱	SIM	通信用SIMカード挿入スロット (カバーを外した状態)*
⑲	POWER	電源ケーブル接続用端子
㉑	SENSOR INTERFACE	I/Oケーブル接続用端子
㉒	AUDIO OUT	音声出力端子RCA (赤)
㉓	CAM1 ~ 4 / USB	カメラ接続用ケーブル端子 (CH1 ~ 4用 + USB端子)
㉔	CAM5 ~ 8 / USB	カメラ接続用ケーブル端子 (CH5 ~ 8用 + USB端子)

※通信対応については別途販売店にご連絡ください。別途通信管理契約が必要となります。

リモコン



No.	名称	機能
②④	Lock	ドライブレコーダーをロックする場合に使用します。解除するためにはパスワードが必要です。 (パスワードの初期設定：1111)
②⑤	Panic	パニック録画する場合に使用します。
②⑥	Menu	メニューリストを表示します。
②⑦	Search	録画ファイルを日時で検索したいときに使用します。
②⑧	Backup	USBメモリーに録画ファイルを保存したいときに使用します。
②⑨	IR ID	録画画面に表示されるアイコンを表示／非表示にします。 ※現在のファームウェアでは「IR ID 1」のみ作動します。
③⑩	カーソルキー (▲/▼/◀/▶)	別の項目に移動するときに、これらボタンを押して移動します。 ※画面によっては上・下で横方向に動きます。
③⑪	Enter	選択項目を決定します。
③⑫	数字 (+10含む)	1～8チャンネルまでを個別に拡大表示させたいときに押します。元の分割画面に戻したいときは、メニューリストの表示メニューから元の画面モードを選びます。 ※9、+10ボタンは1チャンネルを表示します。0は無効です。
③⑬	ESC	設定メニュー画面などでキャンセル(画面をひとつ前の状態に戻す)したいときに押します。 ※画面によってはカメラ映像画面まで戻ります。
③⑭	4分割画面	カメラ映像を4分割で表示します。
③⑮	6分割画面	カメラ映像を6分割で表示します。
③⑯	8分割画面	カメラ映像を8分割で表示します。
③⑰	9分割画面	カメラ映像を9分割で表示します。

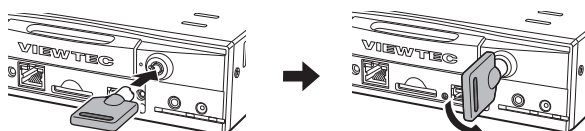
記録媒体を取り付ける

⚠ 重要

- 本機から記録媒体を取り付け・取り外すときは、必ず本機の電源を切った状態（電源ランプ（緑）、および録画ランプ（赤）が消灯している状態）で行ってください。電源を切らずに行くと、記録媒体に記録された映像が消失する、または記録媒体が破損する場合があります。
- 本機ではじめて使用する記録媒体は、録画前に必ず本機でフォーマットしてください。フォーマットについては32ページの『システム設定一覧：ストレージ』を参照してください。

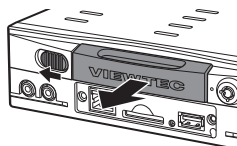
SSD (HDD) の取り付け

1. 本機の鍵穴に鍵を押し込みながら、反時計回りの方向に回す

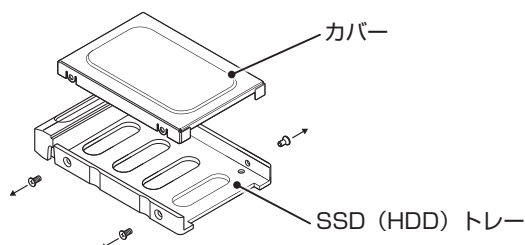


※電源ランプ（緑）、および録画ランプ（赤）が消灯してから、次の操作をします。

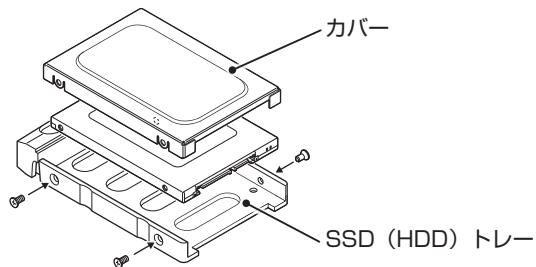
2. トレーロックバーを左にスライドさせたまま、SSD (HDD) トレーを引き抜く



3. ネジ（4か所）を取り外し、SSD (HDD) トレーからカバーを外す

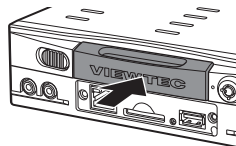


4. カバーとSSDまたはHDDをSSD (HDD) トレーに取り付ける
向きに注意して取り付けてください。

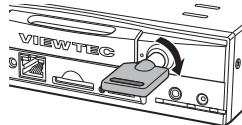


※SSDまたはHDDをSSD (HDD) トレーに取り付けた状態を以下「SSD (HDD) ユニット」といいます。

5. SSD (HDD) トレーを本機に差し込む



6. 鍵を押し込みながら、時計回りの方向に回し、ロックする



※ロックされているか必ず確認してください。ロックされていないと本機は起動しません。

SSD (HDD) トレーの取り外し

『SSD (HDD) の取り付け』手順1 ～ 2を行う

SSD (HDD) トレーの取り付け

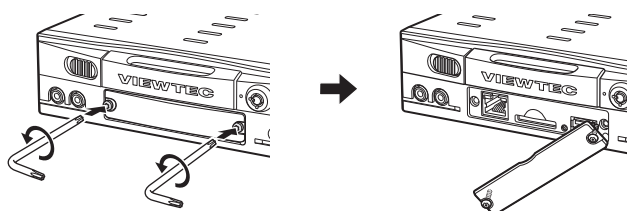
『SSD (HDD) の取り付け』手順5 ～ 6を行う

SDカードの挿入

⚠ 重要

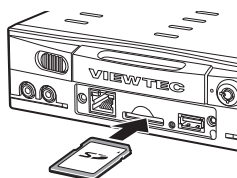
- 衝撃や振動による接触不良を起こすことがあるため、変換アダプターを装着したMiniSDカード・MicroSDカードは使用しないでください。
- 本機ではじめて使用する記録媒体は、録画前に必ず本機でフォーマットしてください。フォーマットについては32ページの『システム設定一覧：ストレージ』を参照してください。

1. 前面カバー専用ネジ回しを使って、本機前面カバーのネジを緩め、カバーをずらす

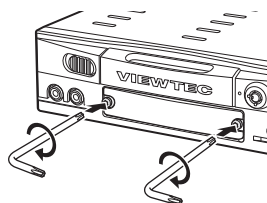


※前面カバーは完全には外れないようになっています。

2. SDカードスロットにSDカードを「カチッ」と音がするまで挿入する

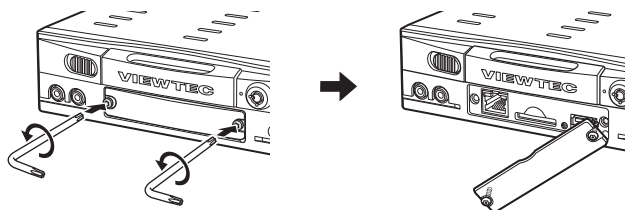


3. 前面カバー専用ネジ回しを使って、本機前面カバーのネジを締め、前面カバーを取り付ける



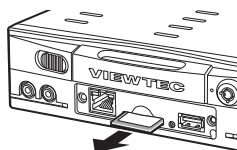
SDカードの取り出し

1. 前面カバー専用ネジ回しを使って、本機前面カバーのネジを緩め、カバーをずらす



※前面カバーは完全には外れないようになっています。

2. SDカードを軽く押し込む
3. 少し飛び出してきたら、引き抜く

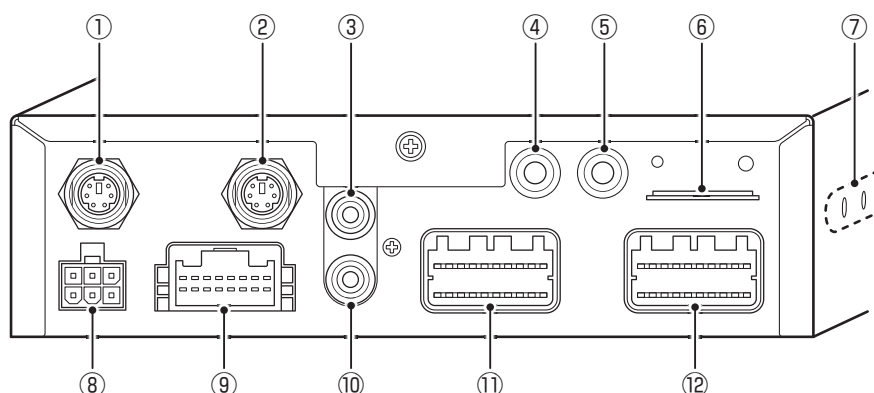


本機・カメラ・付属品を取り付ける

本機の取り付け

⚠ 重要

- 車両へのダメージを避けるため、専門技術者のアドバイスにしたがって設置してください。
- 配線作業中は、バッテリーのマイナス側ケーブルを必ず外してください。ケーブルを外さないと、ショートによる感電や怪我の原因となります。
- レコーダー本体は、直射日光などを避けて、助手席の下など平らな場所に確実に固定してください。しっかりと固定できないところや、振動の多い場所には取り付けないでください。
- 記録媒体を抜き差しできるように、レコーダーの前面にスペースを確保してください。



- | | |
|--|--|
| ① イベントボックスの接続 (オプション) | ⑧ 電源コードの接続 (車両の各ケーブルと接続)
『電源コードの取り付け』参照 |
| ② GPSユニットの接続 | ⑨ I/Oケーブルの接続 (車両の各ケーブルと接続)
『I/Oケーブルの取り付け』参照 |
| ③ RCA映像ケーブル (黄) (オプション)
(モニター映像入力端子へ) | ⑩ RCA音声ケーブル (赤) (市販品)
(モニター音声入力端子へ) |
| ④ 無線通信用アンテナの接続 | ⑪ カメラ接続用ケーブル (CH1 ~ 4用) |
| ⑤ 3G/4G通信用アンテナの接続 | ⑫ カメラ接続用ケーブル (CH5 ~ 8用) |
| ⑥ 通信用SIMカードの挿入 | |
| ⑦ 取り付け用ネジ穴 | |

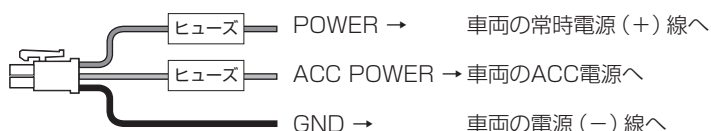
本機取付け・使用上の注意**⚠ 注意**

- 通信対応については別途販売店にご連絡ください。別途通信管理契約が必要となります。
- イベントボックス接続用端子とGPSユニット接続用端子は形状が同じです。誤って接続しないようご注意ください。
- レコーダー本体を車両に取り付ける際は、レコーダー本体側面のネジ穴各2か所と車両側のステーやブラケットのネジ穴各2か所を合わせ、ネジ (M5×8) で固定してください。指定のネジ以外での取り付けは破損の原因となります。必ず指定のネジで取り付けてください。
※ネジ (M5×8) は付属していません。別途お買い求めください。
- 本体にUSBコネクタを使用する装置/機器等を接続させ、本体動作中にUSBコネクタを挿抜した場合は、それ以降はそれら機器の動作や記録が不能となります。USBハブなどを経由して本体にUSBコネクタを使用する装置/機器を接続した場合も同様です。その場合はUSBコネクタの正常な接続を確認した上で本体を再起動(OFF→ON)させてください。その際はUSBコネクタで接続された機器が正常に動作・記録できているのか必ず確認してください。
- 外部強制ボタン(イベントボックス接続)は1秒に2回以上押さないでください。2回以上押した場合は正常な記録ができなくなります。
- 本体はI/Oケーブル及び外部強制ボタン(イベントボックス接続)から入力された信号を1回/秒の単位で記録します。従って本体は1秒間に2回以上の信号が入力されても1回と認識、または最後の信号を記録します。
- GPSユニットが接続・正常動作されていないとイベント情報(I/Oケーブルからの入力信号、USBコネクタ接続機器からの信号)を正常に記録できません。ご使用前にGPSユニットの正常動作を確認してください。
- その他のご使用における注意事項は本機取扱説明書をご確認ください。

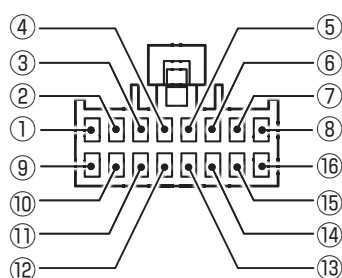
電源コードの取り付け

⚠ 重要

- 本体電源コードのヒューズ規定容量は7.5Aです。ヒューズを交換する場合は、規定容量のヒューズと交換してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、配線などが過熱し、焼損して火災になるおそれがあります。

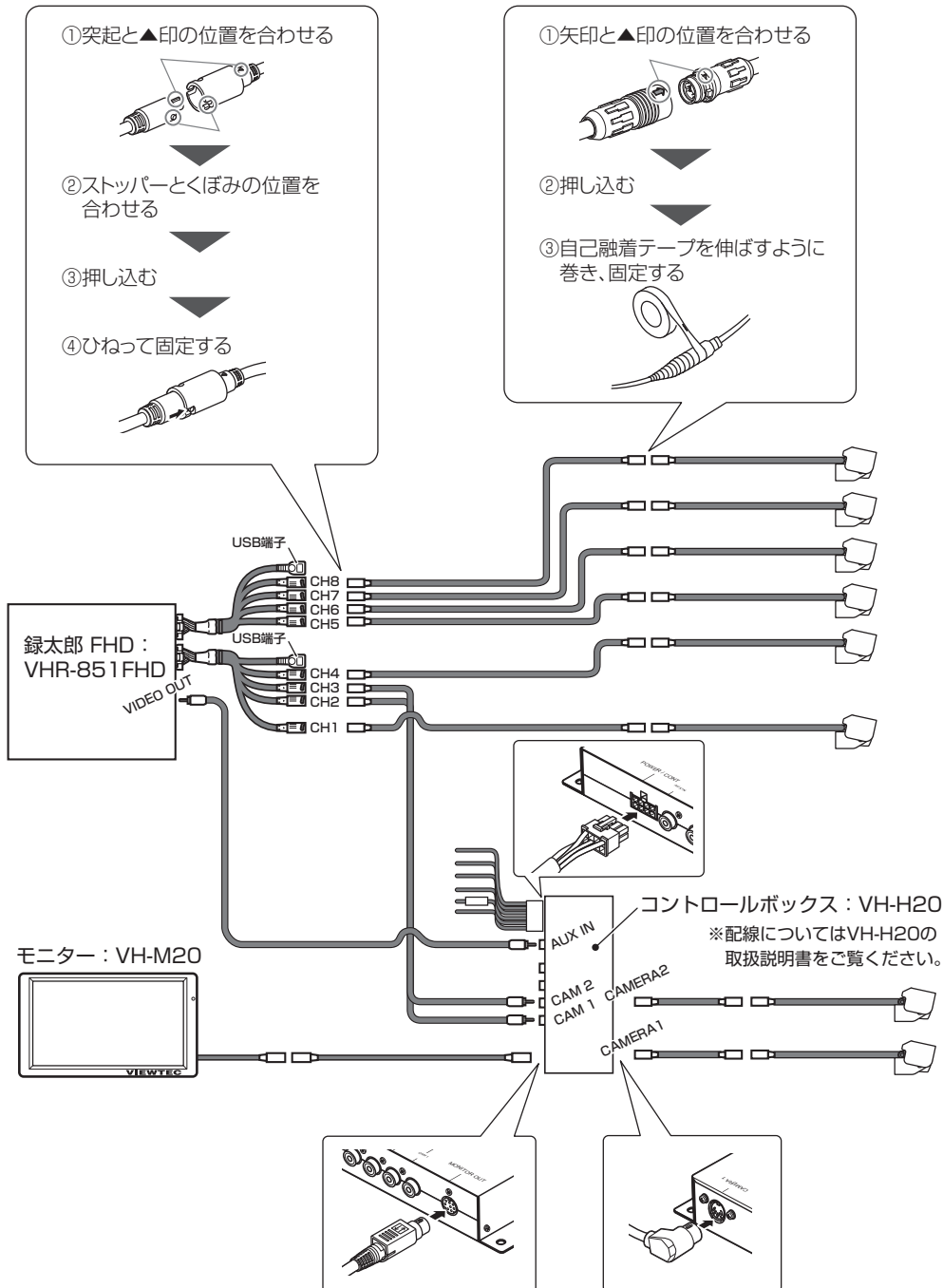


I/Oケーブルの取り付け



No.	名称	機能
①	SENSOR1	左ウィンカー信号線と接続
②	SENSOR2	右ウィンカー信号線と接続
③	SENSOR3	ブレーキランプ信号線と接続
④	SENSOR4	バックギアランプ信号線と接続
⑤	SENSOR5	センサー録画用信号線と接続
⑥	SENSOR6	センサー録画用信号線と接続
⑦	SENSOR7	センサー録画用信号線と接続
⑧	SENSOR8	センサー録画用信号線と接続
⑨	COM	リレー出力のCOM端子
⑩	NO	外部出力のノーマルオープン端子。通常時は接点が開き、作動接点が開く外部機器と接続
⑪	NC	外部出力のノーマルクローズ端子。通常時は接点が開き、作動接点が閉じる外部機器と接続
⑫	TX	UART TX (デバッグ用)
⑬	RX	UART RX (デバッグ用)
⑭	SPEED	車速信号線と接続
⑮	RPM	エンジン回転信号線と接続
⑯	GRD	電源(-)線と接続

カメラ・モニターの取り付け



-
- CH1、CH2、CH5とCH6にはFHDカメラを取り付けることができます。FHDカメラを取り付ける場合はご注意ください。
 - 録音するには、マイク付きカメラ・音声線付きケーブル (VH2-WP7.5/10/15/20/23-A) が必要です。詳しくは販売店にご確認ください。
 - カーナビやテレビとドライブレコーダー本機をRCA音声ケーブル (オプション)・RCA映像ケーブル (オプション) で接続します。
 - ドライブレコーダー前面のRCA端子は、ご用意いただいたAVケーブルによっては外れやすい場合があります。外れやすい場合は本機背面のRCA端子に接続してください。
 - モニター (VH-M20: オプション) が接続されているコントロールボックス (VH-H20: オプション) を使用する場合は、コントロールボックスとドライブレコーダー本機を、RCA映像ケーブル (オプション) で接続します。

動作確認をする

電源をONにする

車両キースイッチを「ACC」または「ON」にする

本機に自動的に電源が入り、システムが起動します。

※本機の状態によっては、ブザーが鳴る場合があります。ブザーについては34ページの『イベント録画設定を変更する』を参照してください。

電源をOFFにする

車両キースイッチを「OFF」にする

システムが終了し、本機の電源が自動的に切れます。

インジケータランプについて

本機前面のランプの点灯や点滅で、本機の状態を確認できます。

録画ランプ(赤)	電源ランプ(緑)	本体動作状況
消灯	消灯	電源OFF / ACC OFF 本体キースイッチOFF
消灯	点灯	全カメラ録画OFF設定 録画ファイル再生中
点灯	点灯	正常動作および録画中(イベント録画時も含む)
点灯	点滅	映像信号なしを検知 ※35ページの『イベント録画設定一覧：映像信号なし』を参照してください。 本体システムエラー発生
点滅	点滅	SSD (HDD) 認識不良 (SDカード挿入時バックアップ録画中)
消灯	点滅	SSD (HDD) とSDカードともに認識不良 (SDカード未挿入時含む) 映像信号なしを検知、もしくは本体システムエラーが発生し、さらに全カメラ録画OFF設定 システム起動中
点滅	点灯	SSDを取り外してロックしてください。

本機を操作する

本書では、主にリモコンのボタンを使って操作説明をしています。USBマウスを使って操作する場合は、直接マウスカーソルを項目に合わせ、クリックしてください。

リモコンで本機を操作する

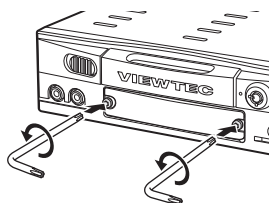
リモコンの使用方法は13ページの『リモコン』を参照してください。

⚠ 重要

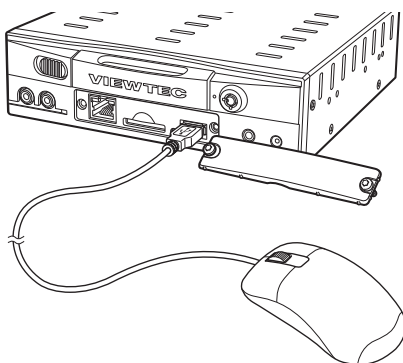
- リモコン操作の可能範囲は約10mです。操作対象機以外のドライブレコーダーを操作する可能性がありますので、誤動作を防ぐために必ず本体受光部とリモコンを1cm程度に接近させて操作してください。

マウスで本機を操作する

1. 前面カバー専用ネジ回しを使って、本機前面カバーを外す



2. ドライブレコーダー前面部のUSB端子に、USBマウスを接続する

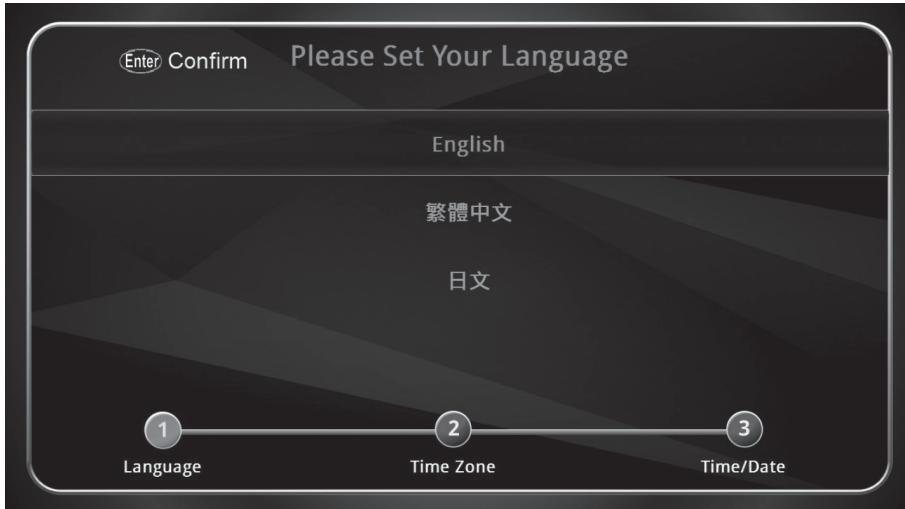


《参考》カメラ接続ケーブル (VHR-AB30) のUSB端子にもUSBマウスを接続できます。

本機の初期設定を行う

1. 電源をONにする

言語設定画面が表示されます。



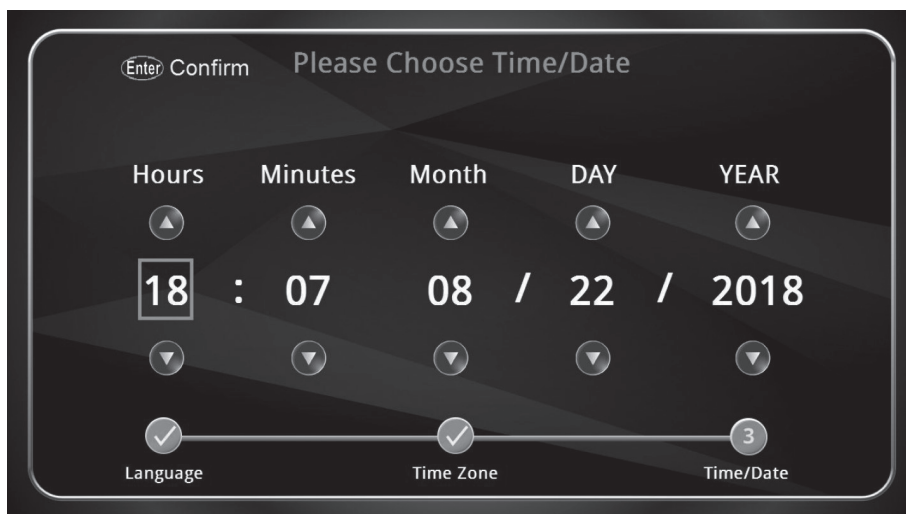
2. リモコンの [▲] [▼] ボタンでカーソルを「日文」(日本語) に合わせて [Enter] ボタンを押す

タイムゾーン設定画面が表示されます。



3. リモコンの [▲] [▼] ボタンで [(UTC+9:00)Osaka, Sapporo, Tokyo] を選び、[Enter] ボタンを押す

日付/時刻設定画面が表示されます。



4. リモコンの[◀] [▶]ボタンでカーソルを移動させ、[▲] [▼]ボタンで設定を変更する
5. リモコンの[Enter]ボタンを押して設定を適用する
初期設定が完了し、録画画面が表示されます。

画面表示を確認する



アイコン	内容
	GPSが正しく作動しているときに表示されるアイコン
	Gセンサーのトリガー信号が正しく作動しているときに表示されるアイコン
	センサーのトリガー信号が正しく作動しているときに表示されるアイコン
	パニック録画が実行されているときに表示されるアイコン
	車速超過が検知されているときに表示されるアイコン
	SDカードが正しく認識されているときに表示されるアイコン
	SSD (HDD) が正しく認識されているときに表示されるアイコン
	録画中のデータが転送されているときに表示されるアイコン
	無線通信が正しく作動しているときに表示されるアイコン
	3G/4G通信が正しく作動しているときに表示されるアイコン
	イーサネット通信が正しく作動しているときに表示されるアイコン
	電圧インジケータのアイコン
	録画中に表示されるアイコン (緑色：録画中、赤色：イベント録画中)
	音声が無効になっているときに表示されるアイコン
	音声が無効になっているときに表示されるアイコン

設定を変更する

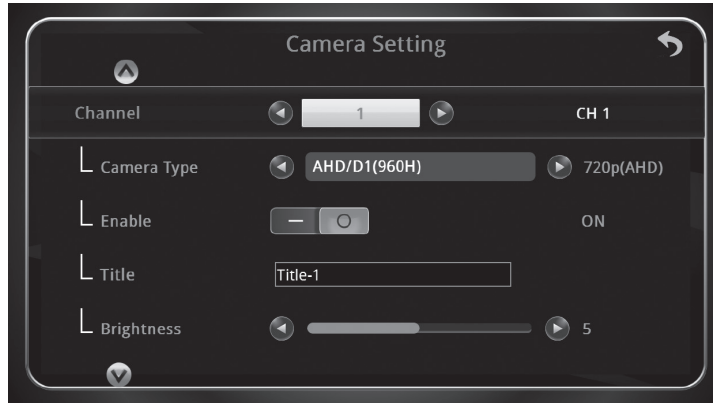
リモコンの [Menu] ボタンを押す（マウスの場合は右クリックする）と、画面下部にメニューリストが表示されます。メニューリストが表示されているときに再度 [Menu] ボタンを押すと、メニューリストが非表示されます。



アイコン	内容
 (設定)	本機の動作や録画の設定を確認・変更します。
 (検索)	日時・イベント・動作ログから録画ファイルを検索・再生します。
 (音量)	各カメラの音量設定を行います。
 (表示)	分割画面表示に関する設定を変更します。
 (情報)	本体のファームウェア情報や通信環境の詳細を確認します。

カメラ設定を変更する

1. メニューリストから  (設定) を選び、[Enter] ボタンを押す
設定メニューが表示されます。
2. 設定メニューからカメラ設定を選び、[Enter] ボタンを押す
カメラ設定画面が表示されます。



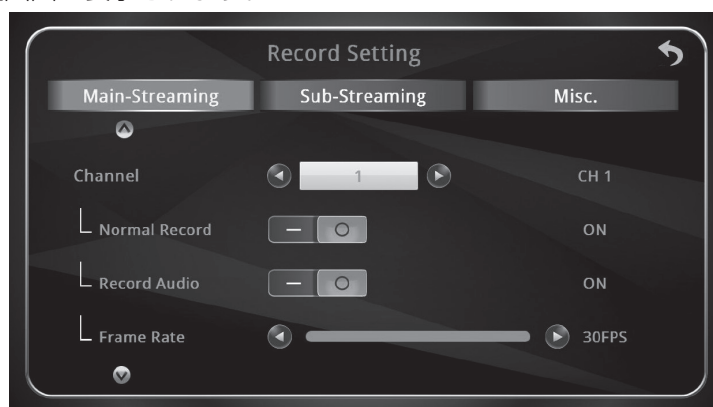
カメラ設定の項目一覧を確認するには以下の表を参照してください。

カメラ設定一覧

項目	設定範囲 [初期値]	内容
チャンネル	1 ～ 8 [1]	設定変更をしたいカメラを選びます。
カメラの種類	自動 / TVI/D1(960H) / FHD/D1(960H) [自動]	カメラの種類を選びます。
有効にする	ON / OFF [ON]	カメラを有効または無効に設定します。
タイトル	任意入力 [CH1]	カメラ名を入力します。
輝度	0 ～ 10 [5]	カメラの輝度を設定します。
コントラスト	0 ～ 10 [5]	カメラのコントラストを設定します。
鮮やかさ	0 ～ 10 [5]	カメラの鮮やかさを設定します。
色あい	0 ～ 10 [5]	カメラの色あいを設定します。
左右反転	ON / OFF [OFF]	カメラの映像を左右回転させます。
上下反転	ON / OFF [OFF]	カメラの映像を上下回転させます。
車の補助線	ON / OFF [OFF]	補助線を有効または無効に設定します。
全て適用	-	[確認] を選ぶと設定が他のカメラにも適用されます。
距離測定	-	補助線をカスタマイズします。リモコンの[Enter]ボタンでカーソルを移動させ、[▲] [▼] / [▲] [▼] ボタンで補助線を調節します。
デフォルト	-	[確認] を選ぶと設定が工場出荷時に戻されます。

録画設定を変更する

1. メニューリストから  (設定) を選び、[Enter] ボタンを押す
設定メニューが表示されます。
2. 設定メニューから録画設定を選び、[Enter] ボタンを押す
録画設定画面が表示されます。



録画設定は、「メインストリーム」、「サブストリーム」と「その他」のタブで構成されています。
録画設定の項目一覧を確認するには以下の表を参照してください。

録画設定一覧：メインストリーム：SSD / HDD保存映像

項目	設定範囲 [初期値]	内容
チャンネル	1 ～ 8 [1]	メインストリームとして設定変更をしたいカメラを選びます。
└ 通常録画	ON / OFF [ON]	カメラの通常録画を有効または無効に設定します。
└ 録音	ON / OFF [ON]	カメラの録音を有効または無効に設定します。
└ フレームレート	NTSC設定時：5 ～ 30 F/S [30] PAL設定時：5 ～ 25 F/S [25]	カメラのフレームレートを設定します。
└ 解像度	D1/960H / 720P [720P]	接続されているカメラの解像度が表示されます。
└ 録画品質	低画質/標準/高画質 [高画質]	カメラの録画品質を設定します。
└ 全て適用	-	[確認]を選ぶと設定が他のカメラにも適用されます。

録画設定一覧：サブストリーム：SDカード／通信映像

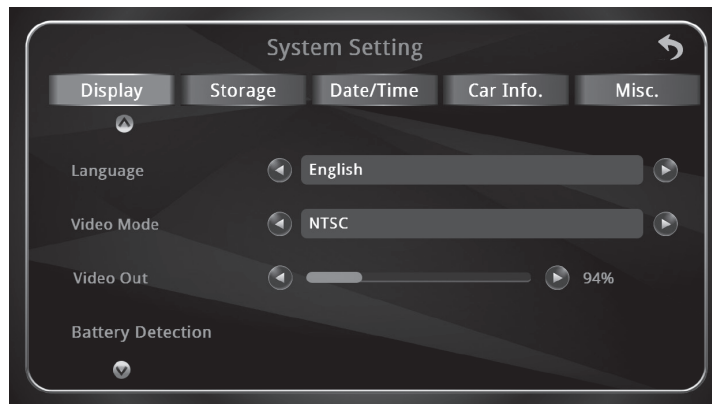
項目	設定範囲 [初期値]	内容
チャンネル	1 ～ 8 [1]	サブストリームとして設定変更をしたいカメラを選びます。
└ フレームレート	3,7,15,25 F/S [15]	カメラのフレームレートを設定します。
└ 解像度	CIF	固定値
└ 録画品質	低画質/標準/高画質 [高画質]	カメラの録画品質を設定します。
└ 全て適用	-	[確認]を選ぶと設定が他のカメラにも適用されます。

録画設定一覧：その他

項目	設定範囲 [初期値]	内容
事前録画	5秒～ 30秒 [10秒]	録画開始までの秒数を設定します。
延長録画	5秒～ 3分 [1分]	録画終了までの秒数を設定します。
デフォルト	-	[確認]を選ぶと設定が工場出荷時に戻されます。

システム設定を変更する

1. メニューリストから  (設定) を選び、[Enter] ボタンを押す
設定メニューが表示されます。
2. 設定メニューからシステム設定を選び、[Enter] ボタンを押す
システム設定画面が表示されます。



システム設定は、「ディスプレイ」、「ストレージ」、「日付/時刻」、「車両情報」と「その他」のタブで構成されています。

システム設定の項目一覧を確認するには次の表を参照してください。

システム設定一覧：ディスプレイ

項目	設定範囲 [初期値]	内容
言語	English / 繁體中文 / 日文 [English]	使用言語を選びます。
ビデオモード	NTSC / PAL [NTSC]	ビデオモードを設定します。常にNTSCに設定してください。
画面サイズ	92% ~ 100% [94%]	画面のサイズを設定します。
電圧検出	-	電圧検出の設定を行います。
⌞有効にする	ON / OFF [OFF]	録画画面に電圧情報を表示するかどうか設定します。
⌞電圧タイプ	12V / 24V [12V]	電圧タイプを設定します。

システム設定一覧：ストレージ

項目	設定範囲 [初期値]	内容
記憶容量	-	記憶媒体に関する情報が表示されます。
⌞SSD	-	搭載されているSSDの容量が表示されます。
⌞SD カード	-	搭載されているSDカードの容量が表示されます。
フォーマット	-	[SSD]または[SDカード]を選ぶとフォーマットを行います。
上書き	-	SSDまたはSDカードの容量が不足しているときに上書きするかどうか設定します。
⌞SSD	ON / OFF [ON]	SSDの容量が不足しているときに上書きするかどうか設定します。
⌞SD カード	ON / OFF [ON]	SDカードの容量が不足しているときに上書きするかどうか設定します。
SD カバー検出	ON / OFF [OFF]	SDカードスロットのカバーの開閉を検出するかどうか設定します。

システム設定一覧：日付/時刻

項目	設定範囲 [初期値]	内容
日付	yyyy/mm/dd	日付を入力します。
時刻	hr:mm:ss	時刻を入力します。
日付形式	dd-mm-yyyy / yyyy-mm-dd / mm-dd-yyyy [dd-mm-yyyy]	日付の形式を設定します。
タイムゾーン	UTC -12:00 ~ UTC +13:00 [UTC +9:00]	タイムゾーンを設定します。
時間モード	12時間表示 / 24時間表示 [24時間表示]	時間モードを設定します。
GPS 時刻	ON / OFF [ON]	GPSの時刻に同期するかどうか設定します。

システム設定一覧：車両情報

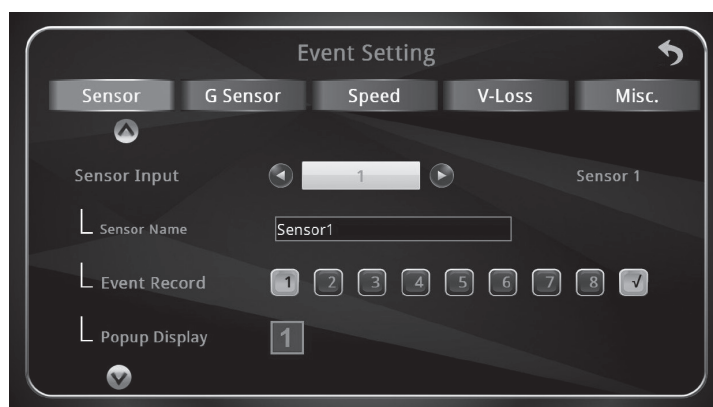
項目	設定範囲 [初期値]	内容
会社名	任意入力 [ABC]	会社名を入力します。
車両 No.	任意入力 [1111]	車両番号を入力します。
ドライバー名	任意入力 [0]	ドライバー名を入力します。
本体 No.	任意入力 [0]	本体番号を入力します。

システム設定一覧：その他

項目	設定範囲 [初期値]	内容
エンジン OFF 録画設定	-	エンジンが切られた際の挙動を設定します。
└ 常時	ON / OFF [OFF]	常時録画を有効または無効に設定します。
└ 時間	任意入力 [30秒]	エンジンが切られてからの録画時間を設定します。
車速単位	キロメートル / マイル [キロメートル]	車速単位を設定します。
車速	-	車速が表示されます。
└ 車速係数	2.0 P ~ 25.0 P [2.0 P]	車速の係数をパルス単位で設定します。
└ 車速波形設定	Emitter Follower / Open Collector / SIN WAVE [Emitter Follower]	車速パルス信号の種類を設定します。
回転速度	-	回転速度が表示されます。
└ 回転係数	2.0 P ~ 30.0 P [30.0 P]	エンジンの回転係数をパルス単位で設定します。
└ 回転波形設定	Emitter Follower / Open Collector / SIN WAVE [Emitter Follower]	回転パルス信号の種類を設定します。
リブート	-	「確認」を選ぶと本体を再起動します。
Import 設定	-	「確認」を選ぶとUSBメモリから設定をインポートします。
Export 設定	-	「確認」を選ぶとUSBメモリに設定をエクスポートします。
デフォルト	-	「確認」を選ぶとシステムのリセットを行います。
全てデフォルトに戻す	-	「確認」を選ぶと設定が工場出荷時に戻されます。

イベント録画設定を変更する

1. メニューリストから  (設定) を選び、[Enter] ボタンを押す
設定メニューが表示されます。
2. 設定メニューからイベント録画設定を選び、[Enter] ボタンを押す
イベント録画設定画面が表示されます。



イベント録画設定は、「センサー」、「G-Sensor」、「車速」、「映像信号なし」と「その他」のタブで構成されています。

イベント録画設定の項目一覧を確認するには以下の表を参照してください。

イベント録画設定一覧：センサー

項目	設定範囲 [初期値]	内容
センサー	1 ~ 8 [8]	設定変更をしたいセンサーを選びます。
└ センサータイトル	任意入力 [alarm 1]	センサーの名前を入力します。
└ イベント録画	1 ~ 8 [1]	イベント録画を有効または無効にするチャンネルを設定します。
└ ポップアップ表示	1 ~ 8 [1]	ポップアップ表示をカスタマイズします。
└ 優先順位	最低～最高 [標準]	センサーの優先順位を設定します。
└ 持続時間設定	1秒～ 10秒 [2秒]	センサーの持続時間を設定します。
└ リレー出力	ON / OFF [OFF]	リレー出力を有効または無効に設定します。
└ メール設定	ON / OFF [OFF]	メールの送信を有効または無効に設定します。
└ 全て適用	-	「確認」を選ぶと設定が他のセンサーにも適用されます。
保存ストレージ	SSD+SD / SSD / SD [SSD+SD]	記憶媒体を指定します。
ブザー	クリティカル (5秒/5分) / 警告 (3秒/30分) / OFF [クリティカル (5秒/5分)]	ブザー鳴動の設定を行います。

イベント録画設定一覧：G-Sensor

項目	設定範囲 [初期値]	内容
有効にする	ON / OFF [ON]	Gセンサーを有効または無効に設定します。
取付方向	No.1 ～ No.20 [No.1]	Gセンサーの取付方向を設定します。
しきい値	2G ～ 5G [3G]	Gセンサーが反応するしきい値を設定します。
イベント録画	1 ～ 8 [1]	イベント録画を有効または無効に設定します。
持続時間設定	1秒～ 10秒 [5秒]	Gセンサーの持続時間を設定します。
リレー出力	ON / OFF [OFF]	リレー出力を有効または無効に設定します。
メール設定	ON / OFF [OFF]	メールの送信を有効または無効に設定します。
保存ストレージ	SSD+SD / SSD / SD [SSD+SD]	記憶媒体を指定します。
ブザー	クリティカル (5秒/5分) / 警告 (3秒/30分) / OFF [OFF]	ブザー鳴動の設定を行います。

イベント録画設定一覧：車速

項目	設定範囲 [初期値]	内容
速度超過	ON / OFF [OFF]	速度超過の検知を有効または無効に設定します。
しきい値	任意入力 [100 km/h]	速度超過のしきい値を設定します。
イベント録画	1 ～ 8 [1]	イベント録画を有効または無効に設定します。
持続時間設定	1秒～ 10秒 [5秒]	速度超過の持続時間を設定します。
リレー出力	ON / OFF [OFF]	リレー出力を有効または無効に設定します。
メール設定	ON / OFF [OFF]	メールの送信を有効または無効に設定します。

イベント録画設定一覧：映像信号なし

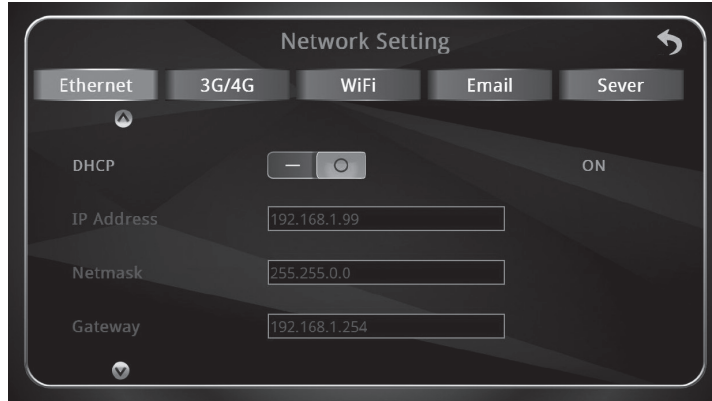
項目	設定範囲 [初期値]	内容
リレー出力	ON / OFF [OFF]	リレー出力を有効または無効に設定します。
メール設定	ON / OFF [OFF]	メールの送信を有効または無効に設定します。
ブザー	クリティカル (5秒/5分) / 警告 (3秒/30分) / OFF [クリティカル (5秒/5分)]	ブザー鳴動の設定を行います。

イベント録画設定一覧：その他

項目	設定範囲 [初期値]	内容
SSD エラー	-	SSD関連エラーが検知された際の設定を行います。
リレー出力	ON / OFF [OFF]	リレー出力を有効または無効に設定します。
メール設定	ON / OFF [OFF]	メールを送信するかどうか設定します。
ブザー	クリティカル (5秒/5分) / 警告 (3秒/30分) / OFF [クリティカル (5秒/5分)]	ブザー鳴動の設定を行います。
デフォルト	-	「確認」を選ぶと設定が工場出荷時に戻されます。

ネットワーク設定を変更する

1. メニューリストから  (設定) を選び、[Enter] ボタンを押す
設定メニューが表示されます。
2. 設定メニューからネットワーク設定を選び、[Enter] ボタンを押す
ネットワーク設定画面が表示されます。



ネットワーク設定は、「イーサネット」、「3G/4G」、「無線LAN」、「メール」と「サーバー」のタブで構成されています。

ネットワーク設定の項目一覧を確認するには以下の表を参照してください。

ネットワーク設定一覧：イーサネット

項目	設定範囲 [初期値]	内容
DHCP	ON / OFF [OFF]	DHCPを有効または無効に設定します。
IP アドレス	任意入力 [192.168.1.99]	IPアドレスを入力します。
Netmask	任意入力 [255.255.0.0]	Netmaskを入力します。
Gateway	任意入力 [192.168.1.254]	Gatewayを入力します。

ネットワーク設定一覧：3G/4G

項目	設定範囲 [初期値]	内容
有効にする	ON / OFF [ON]	3G/4G通信を有効または無効に設定します。
APN	任意入力 [internet]	アクセスポイント名を入力します。
ユーザー名	任意入力 [username]	ユーザー名を入力します。
アクセス No	任意入力 [*99#]	アクセス番号を入力します。
パスワード	任意入力 [12345678]	パスワードを設定します。

ネットワーク設定一覧：無線LAN

項目	設定範囲 [初期値]	内容
有効にする	ON / OFF [OFF]	無線通信を有効または無効に設定します。
無線 LAN のセットアップ	-	無線LANの設定を行います。
SSID	任意入力 [default]	SSIDを入力します。
パスワード	任意入力 [0]	パスワードを設定します。
ホットスポット	ON / OFF [OFF]	ホットスポットによる通信を有効または無効に設定します。
共有の WiFi 設定	-	共有のWiFiに関する設定を行います。
SSID	任意入力 [MDVR_AP]	SSIDを入力します。
暗号化	ON / OFF [OFF]	暗号化を有効または無効に設定します。
パスワード	任意入力 [12345678]	パスワードを設定します。
スキャンリスト	-	「確認」を選ぶと接続ポイントをスキャンします。

ネットワーク設定一覧：メール

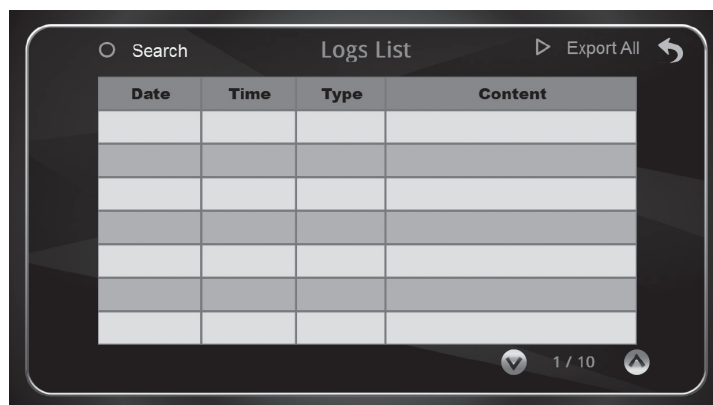
項目	設定範囲 [初期値]	内容
有効にする	ON / OFF [OFF]	メールの送信を有効または無効に設定します。
SMTP サーバー	任意入力 [0]	SMTPサーバーを入力します。
Port	任意入力 [587]	ポートを入力します。
SMTP 認証	ON / OFF [OFF]	SMTP認証を有効または無効に設定します。
利用者	任意入力 [0]	利用者を入力します。
パスワード	任意入力 [0]	パスワードを設定します。
送信者	任意入力 [0]	送信者を記入します。
送信先	任意入力 [0]	送信先を記入します。
SSL	ON / OFF [OFF]	SSLを有効または無効に設定します。
テストメール	-	「確認」を選ぶとテストメールを送信します。
デフォルト	-	「確認」を選ぶと設定が工場出荷時に戻されます。

ネットワーク設定一覧：サーバー

項目	設定範囲 [初期値]	内容
サーバー IP	任意入力 [192.168.1.2]	サーバー IPを入力します。
サーバーポート	任意入力 [8788]	サーバーポートを入力します。
HTTP ポート	任意入力 [80]	HTTPポートを入力します。
ストリーミングポート	任意入力 [554]	ストリーミングポートを入力します。
レジスタータイミング	OFF ～ 60秒 [10秒]	レジスタータイミングを設定します。
ストリーミング	1 ～ 8 [1]	ストリーミングするカメラを設定します。
Telnet	ON / OFF [OFF]	Telnetを有効または無効に設定します。
DNS	任意入力 [8.8.8.8]	DNSを入力します。
デフォルト	-	「確認」を選ぶと設定が工場出荷時に戻されます。

動作ログリストを参照する

1. メニューリストから **✕** (設定) を選び、[Enter] を押す
設定メニューが表示されます。
2. 設定メニューから動作ログリストを選び、[Enter] を押す
動作ログリスト画面が表示されます。



動作ログリストには、イベントや操作の履歴が表示されます。

履歴を検索する

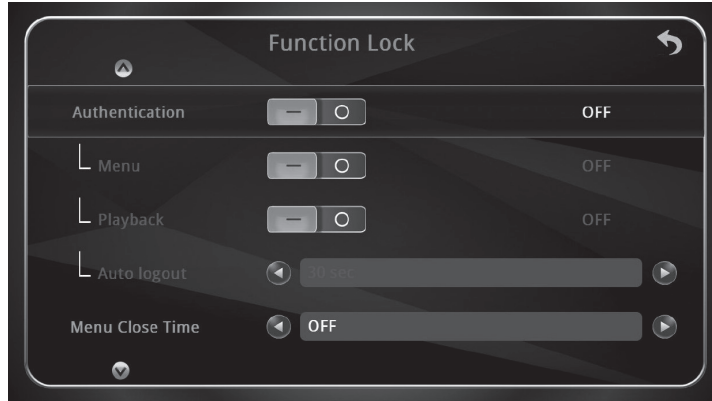
1. 動作ログリスト画面で [Enter] ボタンを押す
2. 「開始日時」、「開始時刻」、「種類」などの検索パラメーターを指定して [確認] を選ぶ
上記のパラメーターにマッチングする履歴が表示されます。

履歴をエクスポートする

1. 本体前面のUSB端子に十分な容量のあるUSBメモリを挿入する
2. 動作ログリスト画面で [▶] ボタンを押す
数分後に動作ログリストのエクスポートが完了します。

機能ロックを使用して機能を制限する

1. メニューリストから  (設定) を選び、[Enter] ボタンを押す
設定メニューが表示されます。
2. 設定メニューから機能ロックを選び、[Enter] ボタンを押す
機能ロック画面が表示されます。



機能ロックの項目一覧を確認するには以下の表を参照してください。

機能ロック設定一覧

項目	設定範囲 [初期値]	内容
認証	ON / OFF [OFF]	認証を有効または無効に設定します。
└ メニュー	ON / OFF [OFF]	メニューに入るときに認証を実行するかどうか設定します。
└ 再生	ON / OFF [OFF]	録画データを再生するときに認証を実行するかどうか設定します。
└ 自動ログアウト時間	5秒～ 3分 [30秒]	自動ログアウトまでの経過時間を設定します。
メニュー閉じる時間	OFF ～ 1分 [30秒]	メニューが自動的に閉じるまでの経過時間を設定します。
パスワード	任意入力 [1111]	パスワードを入力します。
再パスワード	任意入力 [1111]	パスワードを再度入力します。
デフォルト	-	「確認」を選ぶと設定が工場出荷時に戻されます。

映像を検索・再生する

1. メニューリストから  (検索) を選び、[Enter]ボタンを押す
検索画面が表示されます。

2. 以下の項目から検索を実行する

検索画面項目一覧

項目	内容
日付	検索したい日付を指定します。
時刻	検索したい時刻を指定します。
カレンダー	カレンダーを開き、録画データのある日付を選びます。録画データの時間帯はオレンジ色でハイライトされます。
検索	検索を実行します。
⌞ 時間検索	指定した「日付」と「時刻」で録画データの検索を実行します。
⌞ イベント検索	指定した「日付」と「時刻」でイベントの検索を実行します。

操作パネル

録画データを選択すると再生画面が表示されます。本機での映像再生中は、録画ができません。再生停止後に録画が再開されているか、必ず確認してください。

再生画面には操作パネルが表示され、操作パネルを使って以下の操作ができます。

アイコン	内容
 (巻き戻し)	録画ファイルを巻き戻します。巻き戻し速度は(巻き戻し)を押すたびに等倍→2倍→4倍→8倍の順に切り替わります。
 (一時停止)	一時停止します。
 (再生)	再生を開始します。
 (早送り)	録画ファイルを早送りします。早送り速度は(早送り)を押すたびに等倍→2倍→4倍→8倍の順に切り替わります。
 (コマ送り)	コマ送りします。
 (停止)	停止します。
 (検索)	検索画面に戻ります。
 (分割画面)	画面分割モードを選びます。
 (バックアップ)	録画データをUSBメモリにバックアップします。

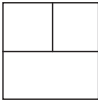
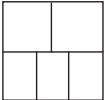
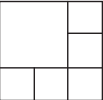
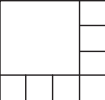
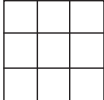
カメラの音量を調節する

1. リモコンの [1] ～ [8] ボタンで音量を調節したいカメラを選ぶ
2. メニューリストから  (音量) を選び、[Enter] ボタンを押す
3. 音量を下げる場合は[◀]ボタンを、上げる場合は[▶]ボタンを押してから [Enter] ボタンで決定する

※音を出さないようにするには、ミュートアイコンが表示されるまで[◀]ボタンを繰り返して押します。

分割画面表示を変更する

1. メニューリストから  (表示) を選び、[Enter] ボタンを押す
表示メニューがポップアップ表示されます。
2. 表示メニューからいずれかの画面モードを選び、[Enter] ボタンを押す
モードに応じて画面表示が切り替わります。分割画面のモードは以下の8種類です。

2分割 表示	3分割 表示 上部分割画面	3分割 表示 下部分割画面	4分割 表示	5分割 表示	6分割 表示	8分割 表示	9分割 表示
							

画面上アイコンを非表示にする

1. 表示メニューから [アイコンを隠す] を選ぶ
画面上アイコンが非表示されます。

非表示アイコンを表示する

2. 表示メニューから [表示アイコン] を選ぶ
非表示になっていたアイコンが再度表示されます。

分割画面表示中のチャンネルの表示順を設定する

1. 表示メニューから [チャンネル設定] を選び、[Enter] ボタンを押す
分割画面表示中のチャンネル設定画面がポップアップ表示されます。
2. 上からの順番でチャンネル1 ～ 8の表示順を変更する
3. カーソルを「確認」に合わせて [Enter] ボタンを押す
設定が適用され、チャンネルの表示順が切り替わります。

情報画面を確認する

1. メニューリストから  (情報) を選び、[Enter] ボタンを押す
情報画面が表示されます。

情報画面は、「装置」、「イーサネット」、「3G/4G」、「無線LAN」と「GPS情報」のタブで構成されています。

情報画面の項目一覧を確認するには以下の表を参照してください。

情報画面一覧：装置

項目	内容
FW. バージョン	ファームウェアのバージョンを確認できます。
Uboot バージョン	Ubootのバージョンを確認できます。
Mcu バージョン	Mcuのバージョンを確認できます。
Kernel 番号	Kernel番号を確認できます。
UID	ユーザー IDを確認できます。
SSD サイズ	SSDの容量を確認できます。
SD カードの容量	SDカードの容量を確認できます。
ドライバー名	ドライバー名を確認できます。

情報画面一覧：イーサネット

項目	内容
IP アドレス	IPアドレスを確認できます。
Netmask	Netmaskを確認できます。
Gateway	Gatewayを確認できます。
Mac アドレス	Macアドレスを確認できます。

情報画面一覧：3G/4G

項目	内容
3G/4G 情報	3G/4G通信が有効かどうか確認できます。
↳ 信号	3G/4G通信の信号を確認できます。
↳ IP アドレス	3G/4G通信のIPアドレスを確認できます。
↳ Netmask	3G/4G通信のNetmaskを確認できます。
↳ Gateway	3G/4G通信のGatewayを確認できます。
↳ モード	3G/4G通信のモードを確認できます。

情報画面一覧：無線LAN

項目	内容
無線 LAN 情報	無線通信が有効かどうか確認できます。
↳ 信号	無線通信の信号を確認できます。
↳ SSID	無線通信のSSIDを確認できます。
↳ IP アドレス	無線通信のIPアドレスを確認できます。
↳ Netmask	無線通信のNetmaskを確認できます。
↳ Mac アドレス	無線通信のMacアドレスを確認できます。
↳ Gateway	無線通信のGatewayを確認できます。

情報画面一覧：GPS情報

項目	内容
緯度	GPSの緯度を確認できます。
経度	GPSの経度を確認できます。
高度	GPSの高度を確認できます。
車速	車速を確認できます。 ※パルスの速度数値ではありません。

PC (ビューワーソフト) で映像を再生する

「MR Player」を使うと、録太郎FHDで記録した映像をPCで再生したり、保存したりできます。詳しくは別紙『MR Player 取扱説明書』を参照してください。

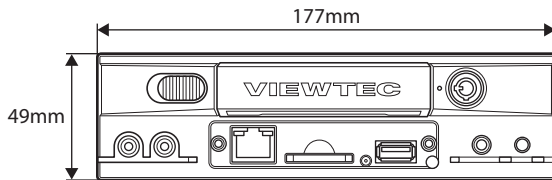
仕様

製品仕様

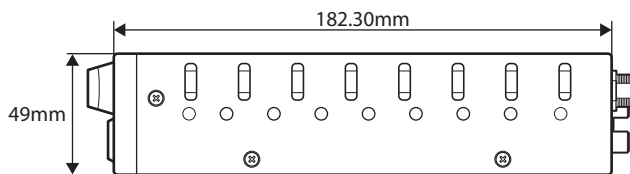
項目	仕様	備考
カメラ接続 (最大)	8チャンネル (FHDまたはHDカメラ×4チャンネル/D1カメラ×4チャンネル)	
映像出力	RCAピンジャック×1 (前面) / RCAピンジャック×1 (背面)	
音声出力	RCAピンジャック×1 (前面) / RCAピンジャック×1 (背面)	
録画方式	常時録画方式 / イベント録画方式	
取得信号	速度、エンジン回転、左ウインカー、右ウインカー、ブレーキランプ、バックギアランプ、その他任意の信号	
アラーム出力	あり	
圧縮方式	H264	
録画解像度	FHD:1080P/720P / D1:720×480	
録画枚数 (最大)	最大30フレーム/秒	
メイン記録媒体	2.5インチ SSD 推奨容量：256GB (最大容量：1TB) / 2.5インチ HDD 推奨容量：1TB (最大容量：2TB)	
バックアップ用記録媒体	SD (SDXC) カード 推奨容量：32GB (最大容量：128GB)	
電源入力	DC 9 V ~ DC 32 V	
動作温度範囲	-10℃~+50℃	記録媒体含まず
保存温度範囲	-20℃~+70℃	記録媒体含まず
寸法	約177 mm (W) × 約49 mm (H) × 約150 mm (D)	
重量	約1,300g	本体のみ (付属品含まず)

外形寸法

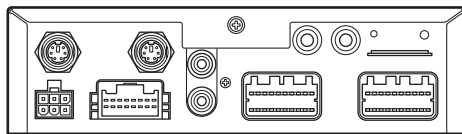
■ 前面



■ 側面



■ 背面



記録時間の目安

■ 512GB SSD / HDD

録画モード：カメラ 4台 FHD (1920×1080) 解像度 + カメラ 4台 D1 (720×480) 解像度の場合

録画品質	15 F/S	7 F/S
最高画質	15.98 時間	34.25 時間
高画質	20.55 時間	44.04 時間
標準	28.77 時間	61.65 時間
低画質	47.95 時間	102.76 時間
最低画質	143.86 時間	308.27 時間

■ 16GB SDカード (Class10推奨)

録画モード：カメラ 8台 CIF (352×240) 解像度の場合

録画品質	15 F/S	7 F/S
最高画質	15.98 時間	34.25 時間
高画質	20.55 時間	44.04 時間
標準	28.77 時間	61.65 時間
低画質	47.95 時間	102.76 時間
最低画質	143.86 時間	308.27 時間

無料修理規定

- 保証期間内に正常な使用状態(取扱説明書に従った使用状態)で故障した場合には、お買上げの販売店が無料修理をさせていただきます。
但し、下記の保証期間の内、1年を超える期間については、部品保証のみとなります。
- 無料修理をお受けになる場合は、本保証書もお預かりさせていただきます。お買上げの販売店に製品と保証書をご持参ご提示の上、お申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合は有料とさせていただきます。
 - 保証書の提示がない場合
 - 保証書にお買上げの年月日、お買上げの販売店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き替えられた場合
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、公害、塩害、異常電圧、交通事故などによる故障および損傷
 - 粗悪環境(例えば高温多湿、塵埃の多い場所)で使用された場合の損傷
 - 付属品などの消耗による交換
 - 離島または離島に準ずる遠隔地へ修理品をお引き取りまたは配送を行う場合に要する実費
 - お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

修理メモ

* この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問合せください。

保 証 書

品 名	録太郎FHD 8ch	型 名	VHR-851FHD
保証期間	対象部品 その他 お買上げ日 西暦	期間(お買上げの日から) 1年	年 月 日
お客様 ご住所	□□□-□□□□		
本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。 お買上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店に修理をお申し付けください。			
販 売 店	住所・販売店・電話番号		
株式会社 日本ビューテック		〒211-0041 神奈川県川崎市中原区下小田中3-26-6 TEL (044) 777-7771	